

SDGsステークホルダーズ・ミーティング

滋賀銀行のSDGsの取り組み

～ 地域社会の未来を描く ～

2020年2月17日
株式会社滋賀銀行
常務取締役 西藤崇浩

滋賀銀行の概要



設 立	1933年(昭和8年)10月1日
歴 史	1879年(明治12年) 第百卅三国立銀行設立 1881年(明治14年) 八幡銀行設立 1933年(昭和 8年) 滋賀銀行設立
総 資 産	6兆1,004億円
従 業 員 数	2,006人(出向者除く)
預 金 残 高	4兆9,525億円 (譲渡性預金含む)
貸 出 金 残 高	3兆7,958億円
格 付	A+ (JCR) A+ (R&I) 2019年3月31日現在

滋賀銀行 CSRの歴史



- ‘84年 「社会福祉法人 しがぎん福祉基金」設立
- ‘99年 「環境方針」制定
- ‘00年 「ふれあい環境室」設置
「ISO14001」認証取得
- ’01年 UNEP FIに署名
- ‘04年 「CSR室」、「CSR委員会」設置
- ‘05年 「しがぎん琵琶湖原則(PLB)」策定
※「環境金融」の推進
- ‘07年 基礎的内部格付手法(FIRB)を金融庁承認
「CSR憲章」と「滋賀銀行の行動規範」制定
- ‘08年 「エコ・ファースト企業」として環境省より認定
- ‘10年 「生物多様性保全方針」制定
- ‘13年 創立80周年
「地域振興室」設置(「地方創生」の支援)
- ‘16年 ポジティブアクション
「プラチナくるみん認定」、「イクボス宣言」
- ’17年 しがぎんSDGs宣言
- ‘20年 責任銀行原則(PRB)署名

滋賀銀行の経営理念

行 是 1966年制定

自分にきびしく 人には親切 社会につくす

CSR憲章(経営理念) 2007年制定

地 域 社 会
役 職 員
地 球 環 境

共存共栄

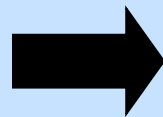
マザーレイク “琵琶湖”

- ◆ 滋賀県の1/6がびわ湖、1/2が森林、460本の川がすべて琵琶湖に流れ込み、1本(瀬田川)から流出。
- ◆ 京阪神1,450万人の貴重な水源
- ◆ “人”と“自然”のバランスを映す“鏡”
湖水の大循環:「びわ湖の深呼吸」
- ◆ 経済は製造業中心、関東・東海・関西の交通の要衝



さまざまな現象は、世界の環境問題を象徴
滋賀県は「地球環境の縮図」

琵琶湖「せっけん運動」(昭和50年代～)
「ISO14001登録率、全国トップクラス」



県民・県内企業の
環境意識の高さ

びわ湖は「**未来からの預かりもの**」

- ◆ 400万年の歴史を持つ世界有数の古代湖
- ◆ 6万羽を超える渡り鳥の越冬地
- ◆ 61種の固有種⇒62%が絶滅危惧種 ⇒ **生物多様性の保全**



「環境経営」 — 経営に環境を取り込む —

琵琶湖

生物多様性 / 1450万人の水源

「環境経営」

高い環境意識

琵琶湖「せっけん運動」

「三方よし」

受け継がれる精神

「環境経営」 — 3つの活動 —

滋賀銀行は経営に環境を取り込んだ「**環境経営**」を銀行経営の要諦と位置づけ、省資源・省エネルギー活動に努める「**エコオフィスづくり**」、本業を通じた環境保全への取り組みとして金融に環境を組み込んだ「**環境金融**」ならびに「**環境ボランティア**」活動を展開



「環境金融」 — 環境格付（PLB）評価 —

①PLBへの賛同 ⇒ ②PLB格付を取得 ⇒ ③PLB資金借入

《環境格付評価項目:15項目、3段階評価》

ISO14001、エコアクション等認証取得	グリーン調達・グリーン購入の取組
環境会計導入	コンプライアンスの推進部署の設置状況
土壌汚染、騒音、振動等への取組	法令違反の事実・可能性
環境に配慮した製品・商品の取扱	環境報告書の発行
法令順守方針の策定	投資案件決定時の環境考慮対応
環境方針の策定	温室効果ガス排出量削減への取組
環境保全のボランティア活動	
省エネ・省資源への取組	リサイクルへの取組

お客さまの、「環境経営」に関して、**当行独自の評価基準により15項目を3段階**で評価。

＜2019年3月末実績＞

格付取得先(事業先比)
11,259先(60.3%)

PLB格付	格付評価	金利引下げ幅
L1	取り組みが先進的	0.5%
L2	取り組みが十分	0.4%
L3	取り組みが普通	0.3%
L4	今後の取り組みに期待	0.2%

格付内容をオープンにし、
環境保全を促進！！

見えないものを 見える化する！

環境保全活動を促すインセンティブ：L5はなし



「しがぎんSDGs宣言」を表明（2017.11.22）

地銀初



「しがぎんSDGs宣言」

“しがぎん”は、CSR憲章（经营理念）に掲げる「共存共栄」の精神のもと、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）を私たちの企業行動につなげ、地域の社会的課題解決と経済成長の両立をはかり、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2017.11.22

取締役頭取 高橋 祥二郎

重点項目（ターゲット2030）

地域経済の創造

金融の力を通じて、社会的課題の解決とイノベーションの促進による新たなビジネスモデルを創出するとともに、地域の魅力を育み、人と街が成長する豊かな地域経済を創造します。

地球環境の持続性

「環境経営」を主軸としたCSR経営を追求し、地球温暖化防止や生物多様性保全など、持続可能な社会の実現に努めます。

多様な人材の育成

働き方改革とダイバーシティの推進により、すべての人々にとって生きがい・働きがいのある職場環境をつくり、もって個性と能力が存分に発揮できる持続可能な人材育成に努めます。

以上



SHIGA BANK



1. 短期的な視点

- 1) SDG s に紐付ける（業務のたな卸し） ⇒ 17のゴールにリンクする活動
- 2) 新たな取り組み（2017/11～
 - ①ニュービジネスサポート資金（SDG s プラン）など新たな金融商品をリリース
 - ②サタデー起業塾「SDG s 賞」新設
 - ③エコビジネスマッチングフェア（各企業の製品がSDG s に役立つか表示）
 - ④各企業の取り組みをマスコミに紹介

2. 中長期的な視点

SDG s を経営に統合する

⇒ 長期目標の策定と中期経営計画へのリンク（バックキャスト思考）

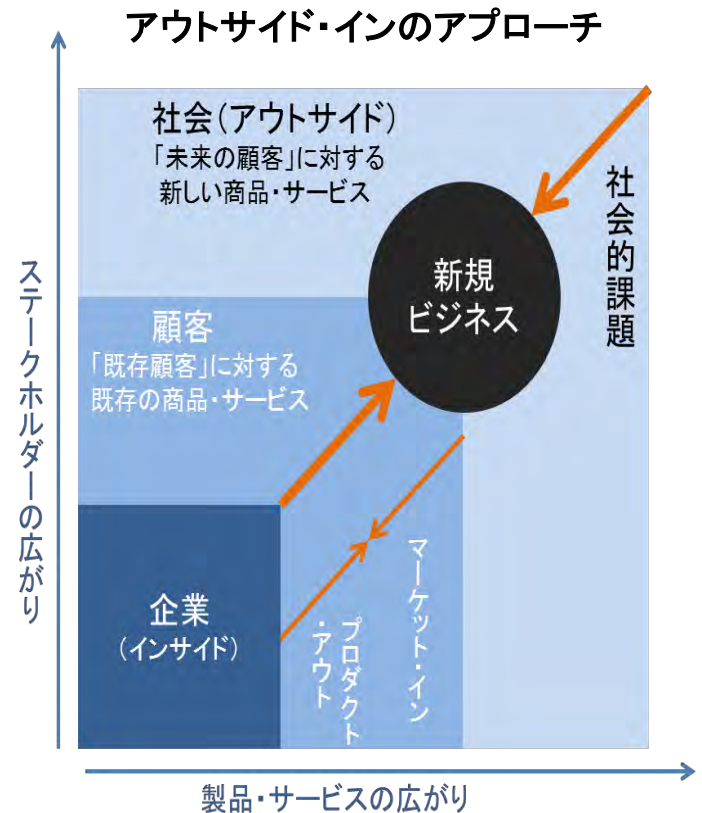
＜SDG コンパスの活用＞

- ①優先課題を決定（マテリアリティ）
- ②目標を設定（中長期的目標・・・K P I）
- ③経営に統合する（中期経営計画策定、営業推進方針、人事制度等）
- ④報告とコミュニケーション

活動をSDGsに紐付ける（抜粋）

戦略	分類	商品・サービス	CSRレポート 掲載ページ	SDGsへの貢献
本業を通じた社会的課題の解決	地域産業振興	エコビジネスマッチングフェア	8	1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 8 働きがいも 経済成長も 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう
		サタデー起業塾	5	
		クラウドファンディング	5	12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に 具体的な対策を
		GAP認証取得サポート	2	
	次世代育成	CSR私募債	2	3 すべての人に 健康と福祉を 4 質の高い教育を みんなに
		未来リーと定期預金	6	
	金融サービス	エコプラス定期預金	8	6 安全な水とトイレ を世界中に 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 15 陸の豊かさも 守ろう
		しがぎん琵琶湖原則	8	
業務における環境課題の解決	エコオフィスづくり	ISO14001、温室効果ガス排出量削減、紙使用量削減、グリーン購入etc.	9	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に 具体的な対策を 15 陸の豊かさも 守ろう
本業を支えるCSR 基盤の強化	人材活用・ 労働環境改善	人権研修、女性活躍推進、プラチナくるみん、BCP策定etc.	12	3 すべての人に 健康と福祉を 5 ジェンダー平等を 実践しよう 8 働きがいも 経済成長も 10 人や国の不平等を なくそう
	環境保全・ 生物多様性保全	いきものがたり活動 地域ボランティア	10	6 安全な水とトイレ を世界中に 11 住み続けられる まちづくりを 13 気候変動に 具体的な対策を 15 陸の豊かさも 守ろう
	福祉・文化・その他	しがぎん福祉基金、KEIBUN文化講座、ユニセフ外国募金、オレンジリボン、しがぎんカップetc.	6・8	2 飢餓を ゼロに 3 すべての人に 健康と福祉を 4 質の高い教育を みんなに 8 働きがいも 経済成長も 16 平和と公正を すべての人に

SDGs を新商品・サービスへ展開



社会的課題解決を起点としたビジネスの創出に向けた取り組みをサポート

SDGsビジネスマッチングフェア

- ・環境に特化した当行主催の展示商談会。
- ・2008年から開催し、今年で12回目。
- ・今回より、「エコビジネス」から
「SDGsビジネス」へ対象を拡大。

日時：2019年7月23日(火)

10:00～17:00

会場：びわ湖大津プリンスホテル
コンベンションホール淡海



しがぎん SDGs ビジネス・マッチングフェア2019

SHIGA BANK

日時 2019 7/23(火) 10:00～17:00 会場 びわ湖大津プリンスホテル
コンベンションホール淡海



BUSINESS MATCHING FAIR

主催／株式会社滋賀銀行／
株式会社しがぎん経済文化センター

後援／滋賀県、公益財団法人滋賀県産業支援プラザ、一般社団法人滋賀県産業協会、
滋賀県経済同友会、滋賀県中小企業団体中央会

入場無料



出店・出展希望者
（エコファースト企業）様へ

ニュービジネスフォーラム「サタデー起業塾」



- ニュービジネス（野の花）の育成が地域金融機関の使命として、「サタデー起業塾」を2000年より毎年開催し、未来を担う次世代ビジネスの創造をテーマに新たなビジネスヒントを提供
- エントリー企業に対して、株式会社リバネスや産官学による野の花応援団と連携して、ビジネスプラン策定やブラッシュアップを個別にサポート
- 社会的課題解決型ビジネスに対して「しがぎんSDGs賞」を新設



協賛企業一覧

atect

OPTEX

株式会社 三東工業社

Takara

GLASS FOR FUTURE
日本電気硝子

FUJITEC

平和堂

株式会社 メタルアート

経営戦略におけるSDGsの位置付け

サステナビリティビジョン(長期ビジョン)

<不変の精神> 行 是：「自分にきびしく 人には親切 社会につくす」
CSR 憲章：「地域社会」「役職員」「地球環境」との共存共栄

<目指すべき地域社会の姿> 自分らしく未来を描き、誰もが幸せに暮らせる社会
～地域との共創による持続可能な社会の実現～

経済・環境・人をつなぐ(統合的发展)

2030年のマイルストーン (ターゲット 2030)

<地域経済の創造>
Sustainable Development
推進投融资
新規投融资額 累計 1 兆円

<地球環境の持続性>
温室効果ガス排出量
30%以上削減
(2013 年度比較)

<多様な人材の育成>
SDGs・金融リテラシーの普及・
向上活動、次世代人材の育成活動
実施人数延べ 1 万人

3つの挑戦指標を通じて経済的価値と社会的価値を創造し、両立することで
地域社会の発展に取り組んでまいります。

地域との協創



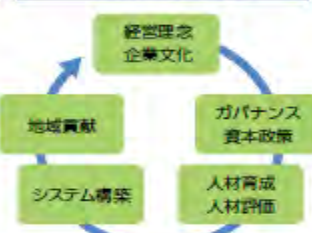
循環型社会の実現



SDGs をビジネスに



経営体制の強化



ゴール・ベース・サポート



デジタルテクノロジー (AI、IoT、ビッグデータなど) の活用

※ 地域との共創…共感して創る
地域との協創…協力して創る

3-1. 個別案件の先行事例① | 水質浄化技術を活用したフグの陸上養殖（滋賀銀行）－概要－

- 陸上養殖へのニーズの高まりを背景に、水質浄化技術を活用したフグの陸上養殖を新規事業として検討。
- 独自技術により排水を行わずに水質を保つことができるため、周辺環境に影響を与えず、コスト削減を実現。

基本情報		
事業者名	ウイルステージ	アクアステージ
事業者業種	不動産 コンサルティング	陸上養殖事業
事業者本社所在地	滋賀県草津市	
事業者にとっての本事業の位置づけ	新規事業	
関係事業者	-	

事例の背景	
水質浄化技術の転用	
・ ウイルステージは鎌倉の円覚寺や京都の平等院鳳凰堂の池の浄化や皇居外苑濠（日比谷濠）の水質浄化事業の実績 ・ 水質浄化技術を活用した新規事業を検討	
社会的課題起点の新規事業	
・ 海洋汚染の問題や、水産資源の保護を背景に陸上養殖へのニーズが拡大すると認識 ・ 滋賀銀行は、新規性があり、SDGs達成に貢献する事業に対して優遇金利で融資を実施するなど、社会的課題起点の事業を支援	

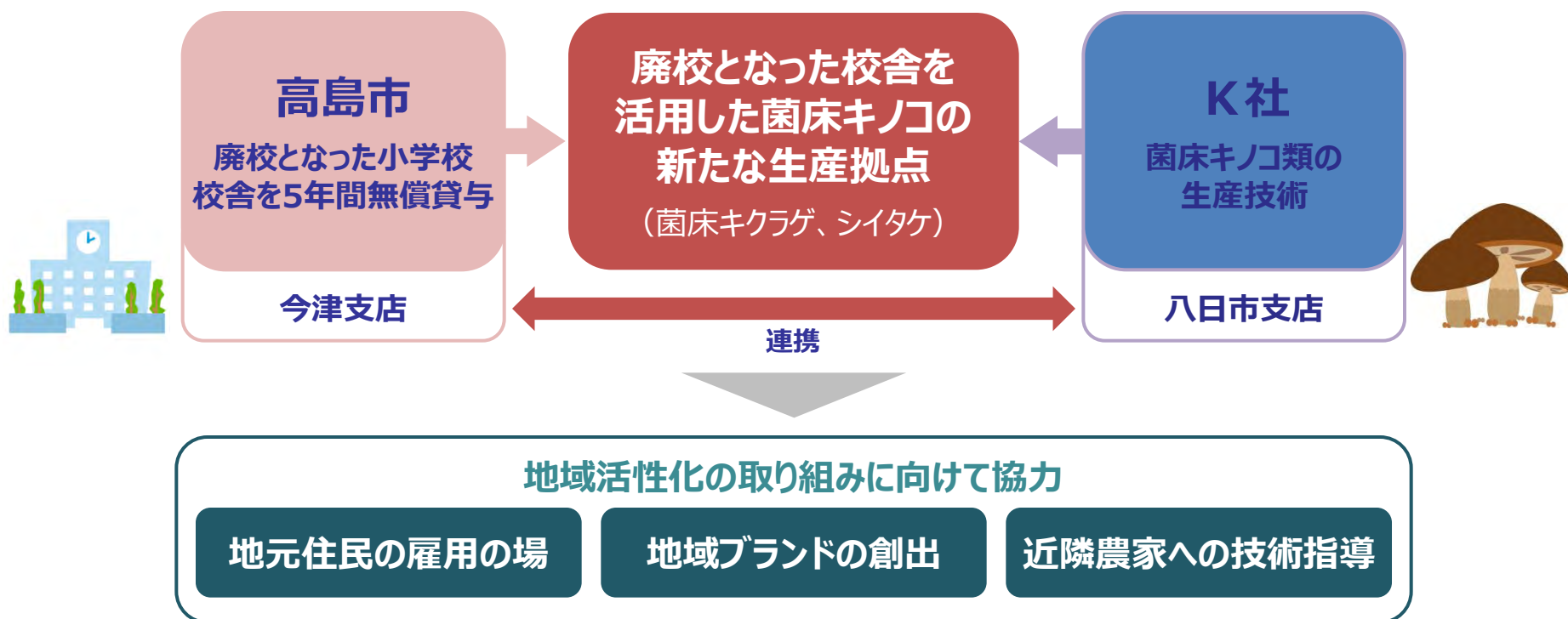


（出所）ウイルステージ ホームページ

精密機械×廃校＝はなびらだけ（高島市）

- 高島市で廃校となった小学校の有効活用に向けて、菌床キノコ栽培事業を手掛ける東近江市のK社の企業誘致を当行が働きかけ
- K社と高島市のマッチングを今津支店と八日市支店が連携してコーディネートし、誘致を実現

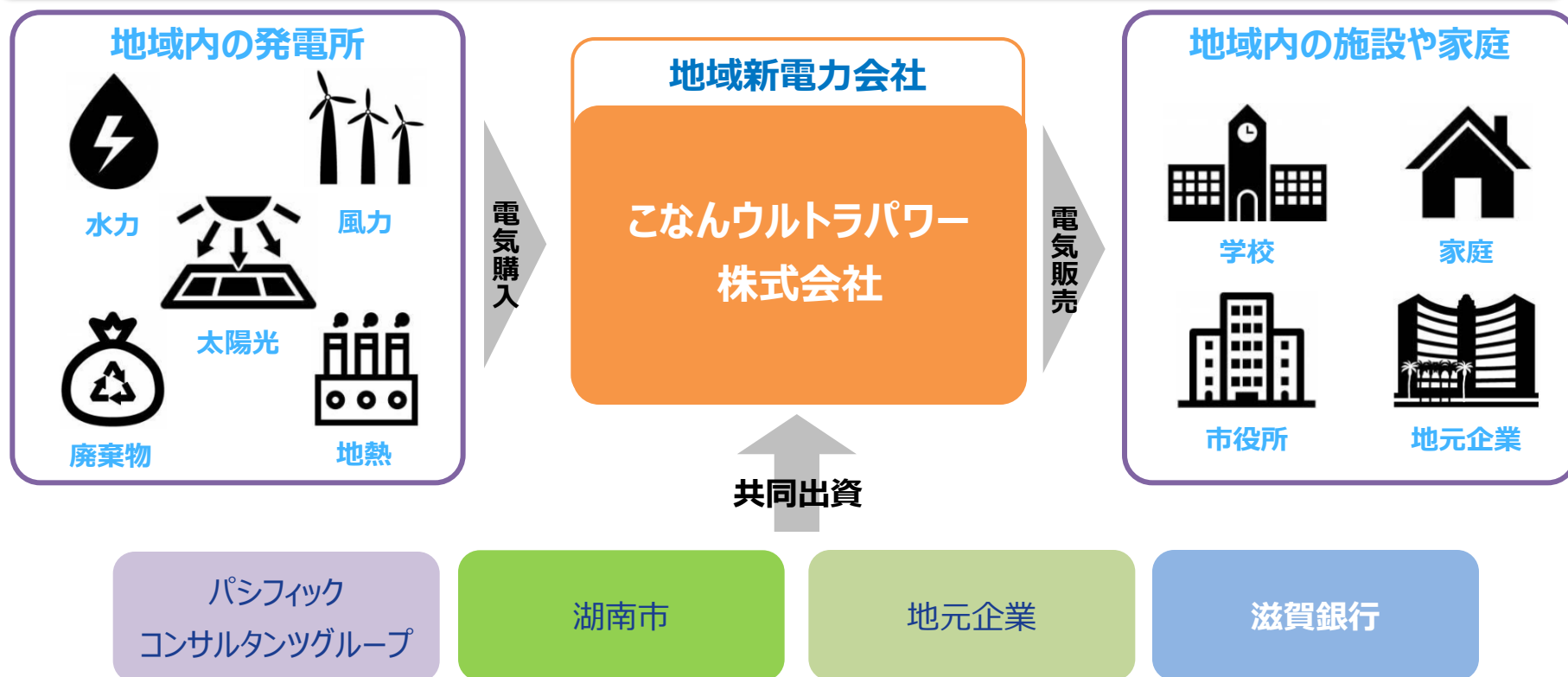
地域の公共施設を活用した新たな産業の創出



官民連携による地域新電力の創出（湖南省）

- 湖南省が中心となり、地元企業などの共同出資によって「こなんウルトラパワー株式会社」を設立
- 近畿初の自治体PPS（地域新電力会社）としてエネルギーの地産地消に向けた取り組み

地域の資源エネルギーを活用した地域活性化の推進(湖南省総合戦略)



私募型グリーンボンド（GB）引受

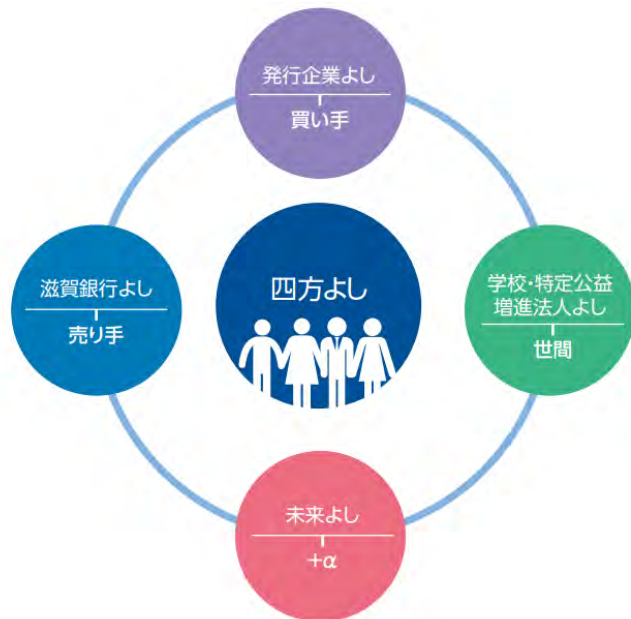
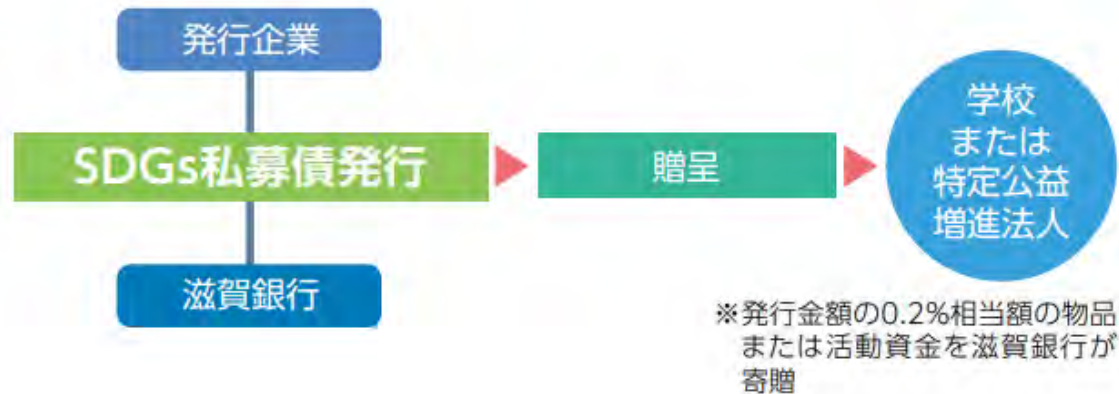
地域電力会社 こなんウルトラパワー株式会社様が発行する私募型「グリーンボンド」1億1千万円を引き受けました。調達された資金は、太陽光発電設備の設置資金と地元の小学校4校のLED

化資金等に充当され、地域における再生エネルギーの生産・利用の促進に役立てられています。



SDGs 私募債「つながり」

商品の仕組み



【売り手】 滋賀銀行

→ 資金ニーズの発掘

【買い手】 発行企業

→ 地元への社会貢献、優良企業の証明、
イメージ向上

【世 間】 学校・特定公益増進法人

→ 学びや成長を応援する物品の贈呈・
社会的課題解決に向けた活動資金の寄付

【+α】 未来よし

→ 子どもたち・地域社会の明るい未来の実現

当行は、次世代を担う子どもたちの健全な育成のため、地域社会と子どもたちとの「つながり」を応援します。

坂田
小学校
(長浜支店)



玉川
小学校
(瀬田駅前支店)



北野
小学校
(草津支店)



安土
小学校
(安土支店)



志津
小学校
(草津支店)

堅田高校
大津商業高校
(堅田駅前支店)



晴嵐
小学校
(石山支店)



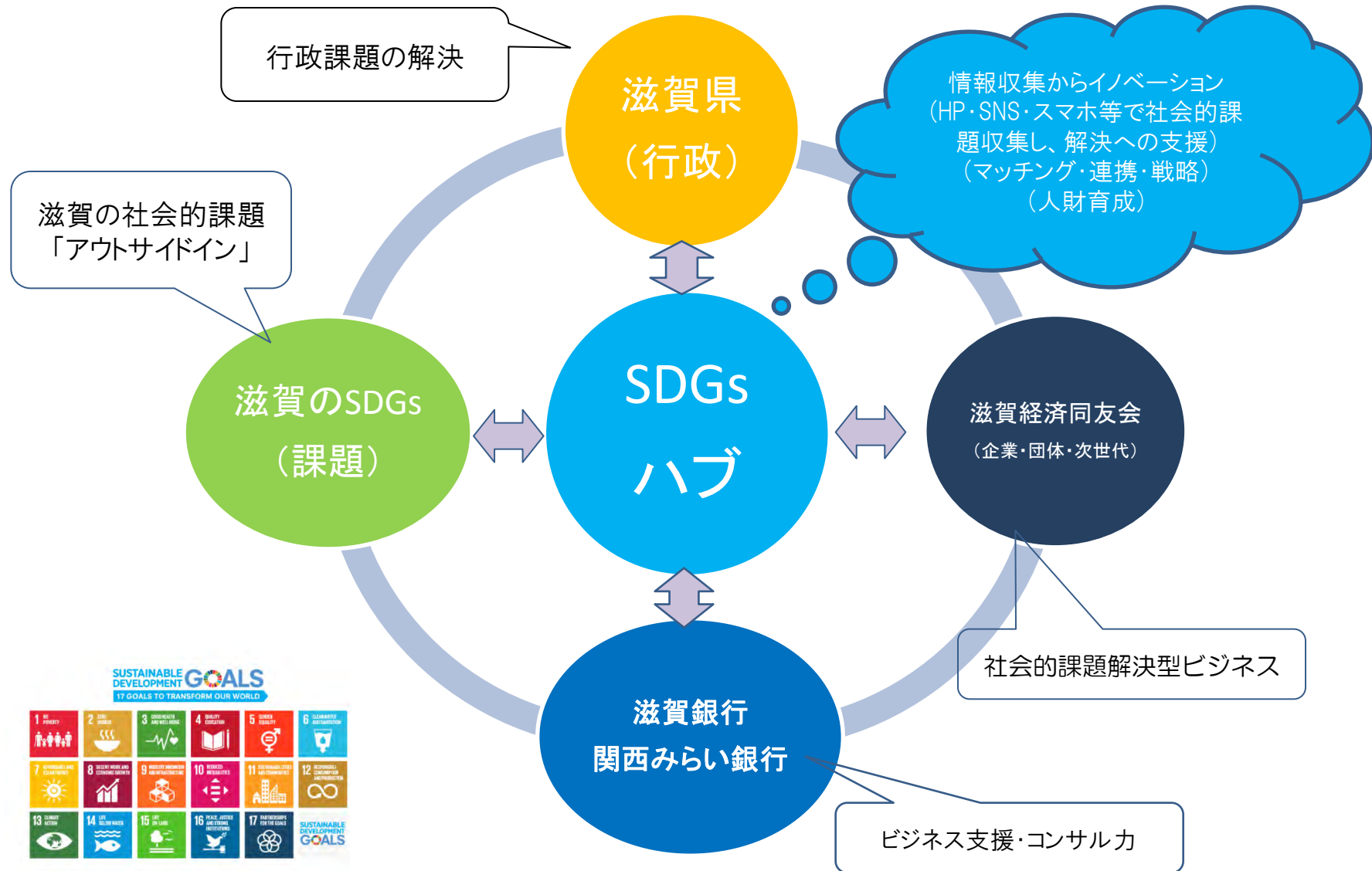
草津
小学校
(草津支店)



上里
小学校
(本店営業部)

2019年7月末までに累計400億円の私募債を発行いただき、
計392の小学校等に、あわせて70百万円相当の寄贈品を贈呈

滋賀SDGs×イノベーションハブ

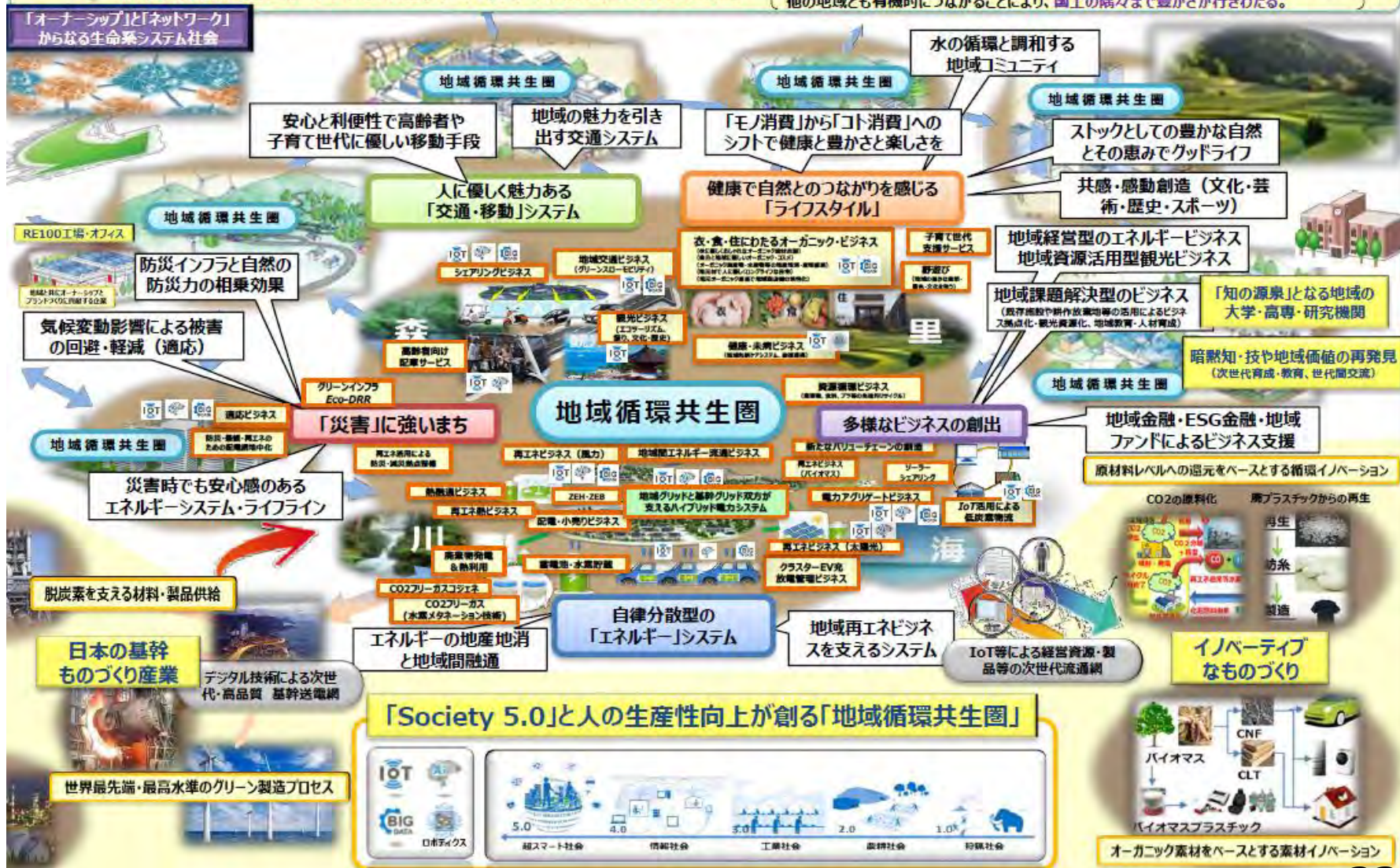


地域循環共生圏（環境省：脱炭素化SDGs構想）

「自立分散」×「相互連携」×「循環・共生」＝ 活力あふれる「地域循環共生圏」⇒「脱炭素化・SDGsの実現、そして世界へ」
 「オーナーシップ」 「ネットワーク」 「サステナブル」 「人間の安全保障、次世代・女性のエンパワーメントを基盤に」

➡ 新たな価値とビジネスで成長を牽引する地域の存立基盤

人々が健康で生き活きと暮らし幸せを実感することで、地域が自立し誇りを持ちながらも、他の地域とも有機的につながることで、国土の隅々まで豊かさが行きわたる。



ご静聴ありがとうございました。